

1 単元名 Unit4 Homestay in the United States (New Horizon English Course 2)

2 目標

- ・助動詞を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・英文を読み、その内容を分かりやすく要約することができる。
- ・have to, will, mustを用いて、自分の考えを正しく伝えることができる。
(外国語表現の能力)
- ・英文を読み、キーセンテンスを的確に読み取ることができる。
(外国語理解の能力)
- ・助動詞を用いた文の構造について理解する。
(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 単元観

この単元では、助動詞の「will」と「must」を学習する。未来形については前単元においても学習したが、「will」を使った意志未来と「be going to」の単純未来の違いについて対比して学習することができる。また、「must」や「must not」についても実際の生活で活用する場面が多い表現である。中学校学習指導要領解説外国語編（以下解説という）の「話すことに関する言語活動」に「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」と示されている。自分の考えや気持ちについて話すことは、学習への興味を高めるとともに、発信力を育てることができる単元である。

また、解説の「読むことに関する言語活動」に、「物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。」とある。具体的には「説明文では、特に中心となる事柄など大切な部分を的確に読み取ったりする。」ことである。この単元では、ホームステイでの生活について比較的長い英文が使用されており、英文を読み、大切な部分をとらえて、的確に読み取る力を育てるには適した単元である。

(2) 生徒の実態 (第2学年1組 男子名14人 女子22人 計36人)

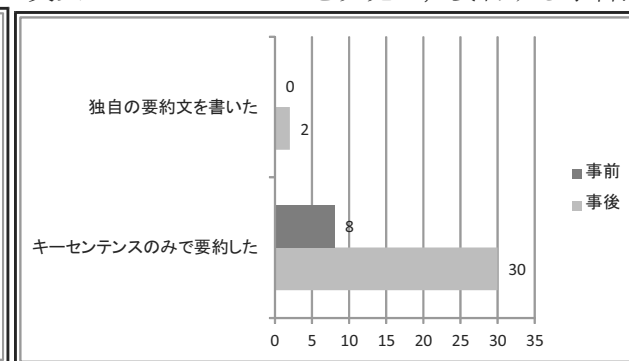
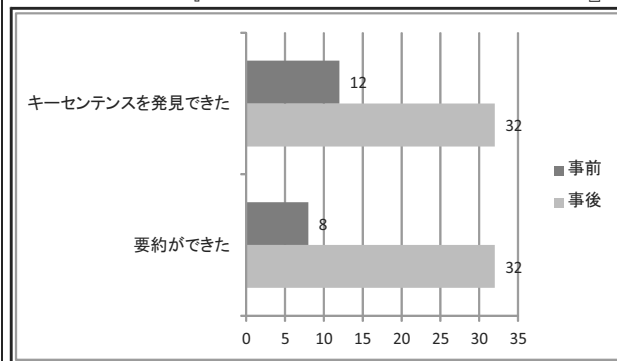
実態調査結果

第1回目 (平成26年5月30日)

Unit2『A Trip to New Zealand』の英文のキーセンテンスを発見し、要約する学習活動

第2回目 (平成26年6月20日)

Multi Plus1『Summer Vacation in Thailand』の英文のキーセンテンスを発見し、要約する学習活動



意識調査結果 (平成26年6月17日)

- (1) 読むことに関して、音読と読解のどちらが得意ですか。
音読が得意 25人 読解が得意 11人
- (2) 読解は得意ですか。不得意ですか。
読解は得意 4人 読解は不得意 32人
- (3) 読解を不得意と感じている理由は何ですか。(複数回答)
 - ・単語や熟語が分からない 16人
 - ・書いてあることをうまくまとめることができない。 12人
 - ・大切な部分を読み取ることができない。 6人

本学級の生徒は、素直な生徒が多く、授業に意欲的に取り組む。ペアやグループ活動においてもお互いに自分の役割をきちんと果たし、学び合う様子が見られる。5月20日に実施した授業では、キーセンテンスを発見することができた生徒数は12人、その内容について要約ができた生徒数は8人と、多くの生徒が英文を読み、それを要約する活動を不得意としていることが分かった。6月20日に実施した授業では、キーセンテンスを発見することができた生徒は32人、要約することができた生徒が32人と成果が見られた。しかし、本文中のキーセンテンスを結び付け、生徒自身が考え、要約することができた生徒は2人という結果となった。意識調査では、読むことに関して、音読を得意としている生徒は25人と大変多いが、読解に対して不得意意識をもっている生徒も多い。その理由として、単語や熟語の知識がきちんと定着していない、書いてあることをうまくまとめることに自信がない、大切な部分を読み取ることができないとことが分かった。単語や熟語の知識の定着と、大切な部分を読み取り、そこから書いてあることをまとめる力を育成する必要がある。

(3) 指導観

単語や熟語が分からないことから、英文読解を不得意としている生徒が多い。教科書に書かれている英文を見ながら、聞こえてくる音声を同時に発音をするパラレルリーディングを行い、単語と熟語の文字と音を結び付け、定着を図りたい。また、コロケーションを効果的に使い、単語と熟語の定着を図りたい。長い英文読解においては、キーセンテンスを読み取ることが大切である。キーセンテンスに関する質問を手がかりに、その答えの根拠となる英文に気付き、読み取る活動を行う。そして、質問の答えの根拠となる英文を活用して要約を行い、説明文を読み取る力を育成する。また、発表の形態も取り入れ、発信する力も育成していきたい。

4 指導と評価の計画（5時間扱い）

時	学習の内容	評価規準	評価計画			
			関	表	理	言
1	・have toを用いて、学校のきまりについて英語で書く。	・have toを用いて、学校の決まりについて英語で書くことができる。 ・have toを用いた文の構造についての知識を身に付けている。		○		○
2	・willを用いて、自分の予定について相手に伝える。	・willを用いて、自分の予定についての確に伝えることができる。 ・willを用いた文の構造についての知識を身に付けている。		○		○
3	・must, must notを用いて、家庭のルールについて話し合う。	・mustを用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ・must, must notを用いた文の構造についての知識を身に付けている。	○			○
4 (本時)	・英文を読み、その内容について、分かりやすく要約する。	・英文を読み、キーセンテンスを的確に読み取ることができる。 ・英文を読み、その内容を分かりやすく要約することができる。		○	○	
5	・まとめをする。	・助動詞を用いた文の構造についての知識を身に付けている。				○

5 本時の活動

(1) 目標

- 英文を読み、キーセンテンスを的確に読み取ることができる。
- 英文を読み、その内容を分かりやすく要約することができる。

(2) 準備・資料

- ・コロケーションカード、ワークシート、ヒントカード

(3) 展開

評は評価

時間	活動内容	指導上の留意点と評価
4	1 英語であいさつをする。 ・What day is it today? ・What's the date? 2 Input Output活動をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの中で既習の会話表現を使用する。 ・既習表現を使った英文をペアで読み、楽しく英語学習に取り組む雰囲気を作る。
2	3 本時の学習内容とCAN-DOを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Let's summarize the story.</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもち学習に取り組むために、本時の学習内容とCAN-DOを提示する。 ・読解を日本語に訳すことと考える生徒がいるので、要約について確認する。
34	4 音読をする。 (1) コロケーション音読をする。 よく使われる単語と単語の組み合わせを音読する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;">give me, too much food, eat everything, tell her taste delicious, It worked, take me anywhere take her to, interesting places, try to good points, like to laugh</div> (2) 英文をパラレルリーディングで読む。 5 英文の大切な部分を読み取る。 ○質問の答えの根拠となる文を見つけ、キーセンテンスに印を付ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"><大切な部分を発見するためのキーセンテンス> (1) Is everyone in Eri's host family kind to Eri? (2) What does Eri's host mother always give to Eri? (3) What did her teacher answer? (4) Did her advice work? (5) Why is Carlo sad? (6) What did his teacher say? (7) What did Carlo find after teacher's answer?</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・単語と単語を組み合わせた音読を繰り返し行い、単語の定着を図る。 ・コーラスリーディング、スピードリーディング、パラレルリーディングと音読方法を工夫する。 ・グループで、お互いに教え合いながら音読ができるようにする。 ・教科書の英文と聞こえてくる音声をほぼ同時に発音することで、文字と発音の結び付きの強化を図る。 ・キーセンテンスを発見することで、大切な部分を読み取る手立てとする。 ・キーセンテンスを発見することが困難な生徒に対しては、部分的に選ぶように助言する。 ・単語や熟語が分からない生徒には、コロケーション音読で用いたカードを参考に提示する。
	6 英文を要約する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;">作成例 Eri's host mother always gives her too much food. She cannot eat anything. Her teacher said "Say I'm sorry. The food tastes delicious, but I can't eat that much." Her advice worked.</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・キーセンテンスを活用するようにと個別に指導する。 ・キーセンテンス以外に知っている単語を使用し、工夫した文の作成も認める。 ・同じ語句の繰り返しには、代名詞を活用することが必要なため、生徒にはヒントカードを配付する。
10	7 要約文を発表する。 8 英語であいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> 評 英文を読み、キーセンテンスを的確に読み取ることができたか。(教科書) 評 英文を読み、その内容を分かりやすく要約することができたか。(ワークシート) ・要約文を発表させ、様々な要約方法があることを伝える。